

たちばなふみ市議代表質問② 子どもの権利尊重する学校づくりを

たちばなふみ市議は、6月議会代表質問で、原発問題、高齢者福祉、ジェンダー平等市民生活など5項目の質問をしました。その内「子どもの権利尊重する学校づくりを」について抜粋して報告します。

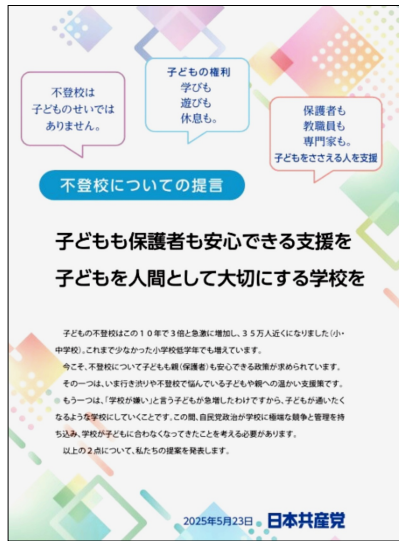
たちばな市議は、年々学校に行きづらい子どもが増えていく中、日本共産党が5月23日に発表した不登校についての提言を紹介しました。

提言は、子どもの生きる権利を基本に、行きたくなる学校づくりと、行けば具合の悪くなる学校は休む権利があるということをうたい、子どもの権利を尊重し「子どもも保護者も安心できる支援」「子どもを人間として大切に学校」を求めています。松江市はこの提言にもある学校に行きづらい子どもの通う「校内教育支援センター」の全校への設置を行っています。

たちばな市議は、根本的には教員不足の解消と、先生の多忙解消や、学校で働く職員を大切にすることで子どもの



代表質問を行う たちばな市議



不登校についての共産党の提言

果的な活用を促すことで教員や学校の負担軽減にもつながっていくなど、答弁しました。

は20年で6倍に急増したと報道されています。たちばな市議は「SSWは困難を抱える教員の相談も受け解決につながる専門家でもある。教員の離職を防ぐためにも早急に体制を整えることが求められる」と質しました。

青木佳子教育長は、

(1)欠員のある学校、常勤講師が配置できず非常勤講師を配置している学校には、5月1日現在緊急校務支援員が44校に80人配置されている。今年度から全校配置し、教頭業務をサポートする教頭マネジメント支援員を市内2校に配置している。

(2)校内教育支援センターについて、市内の小中義務教育学校47校の内43校に設置しており、校内教育支援センター支援員は8人配置した。

(3)SSWは、不登校や虐待等に専門的に対応できる社会福祉士等が担い、生徒のおかれています環境に働きかけ支援している。SSWの活用を研修で教職員に紹介するなどして、より効

樋野伸一市議6月議会一般質問② 国民健康保険について

樋野伸一市議は6月議会5項目質問しました。国民健康保険について報告します。樋野市議は、「松江市の国民健康保険料は年間所得200万円で約33万円と生活を圧迫するものとなっている」として、①



質問する樋野市議

松江市の国民健康保険料は高いと思うか、②基金を取り崩し一世帯当たり1万円、2万円の保険料の引き下げが可能だと考えるかどうか、③特別な事情が無いと判断されると事実上の保険証の取り上げである「資格確認書(特別療養)」が発行されるが、市民の医療を受ける権利を著しく抑制するもので止めるべきではないかと質し、④特別療養費の支給対象世帯には困窮も疑われるとして、生活実態を丁寧に把握し対応することを求めました。松原正健康福祉部長は、

①一人当たりの保険料で比較すると被用者保険に比べて低いが、国保加入者の平均所得が低く、加入者一人当たりの所得に占める保険料の割合である保険料負担率は高くなっている。②2月議会では1億円を取り崩し、保険料負担の急激な上昇を緩和し標準化を図ったところである。今後数万円の引き下げは困難である。③資格確認書(特別療養)の発行は国民健康保険法の規定に基づき対応している。④保険料の納付については相談機会を確保し、個別の事情に寄り添った対応に努めている。経済的困難を把握した場合は関係機関と連携を図り対応している、と答弁しました。

佐野みどり市議6月議会一般質問② 看護師不足について

佐野みどり市議は6月議会一般質問で3項目質問しました。その内「看護師不足について」を報告します。

佐野市議は「日本医療労働組合の夜勤実態調査」や「島根県がおこなった看護職



質問する佐野市議

員実態調査」から看護師不足に拍車がかかっていることは明らかであると指摘。現場からの「戦場のような忙しさに疲れ果てる毎日」「チアスコールが鳴ってもすぐに駆け付けることができない」「長時間夜勤で自分の健康も心配」などの声を届け「松江市の現状認識」「労働環境の改善が急務である」と質しました。また、ひとたび原発事故が起これば日常的に人手不足の中、実効性のある避難計画は立てられていないとし、

島根原発は停止すべきと主張しました。松原正健康福祉部長は「医療機関からは、看護師不足により入院患者の受け入れ体制や病床の確保に影響があると伺っている。労働環境の改善や看護職員の夜勤体制の確保に苦慮されていることは承知している。県がおこなっている専任コーディネーターの配置や院内保育所の支援事業への周知をはかり、県と情報共有していく」と答弁しました。松浦徹理事は「国の指針に照らし、具体的かつ合理的であることが確認されており、松江市の避難計画は現時点で最善のものであると認識している」と答弁しました。